

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

富山県 高岡市

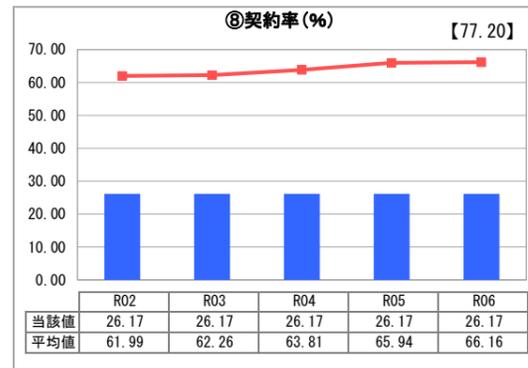
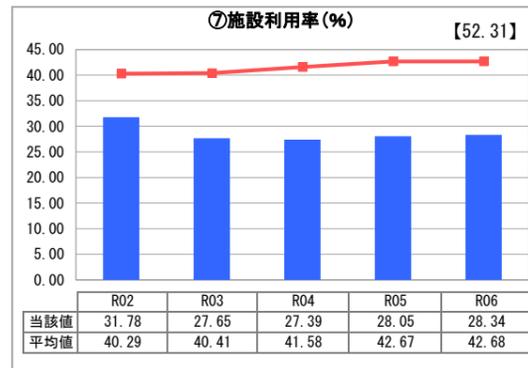
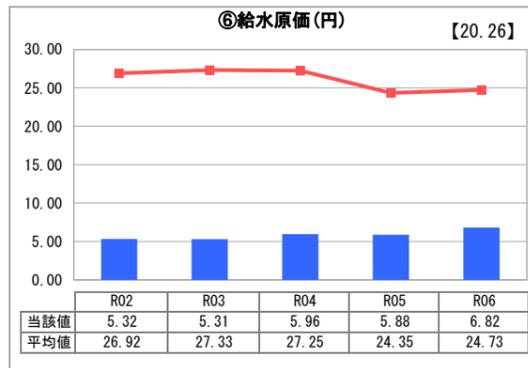
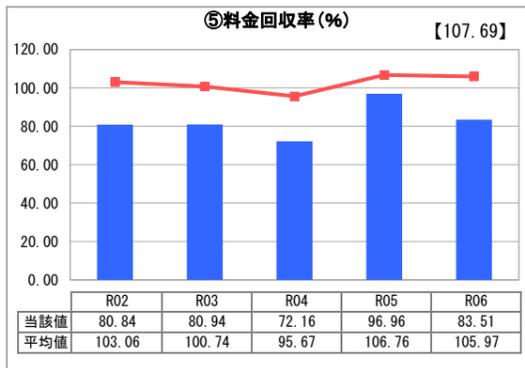
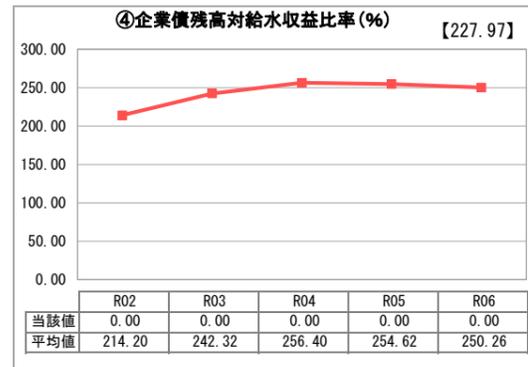
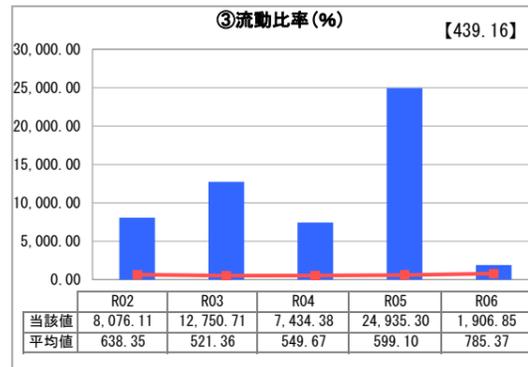
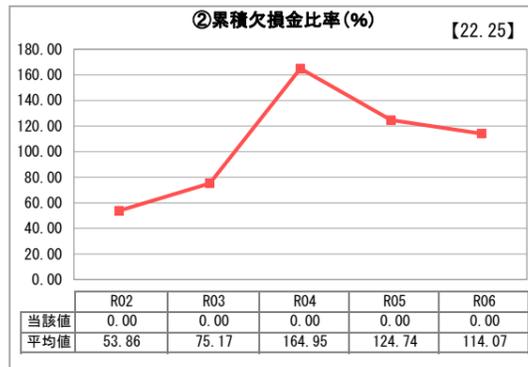
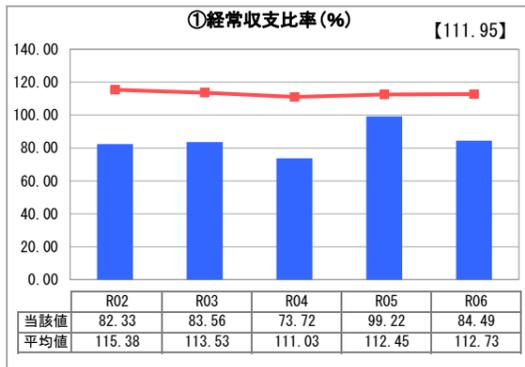
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m ³ /日) 60,000	類似団体区分 中規模	施設数 1	1日平均配水量(m ³) 17,005
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 91.7	給水先事業所数 3	契約水量(m ³ /日) 15,700	管理者の情報 自治体職員	

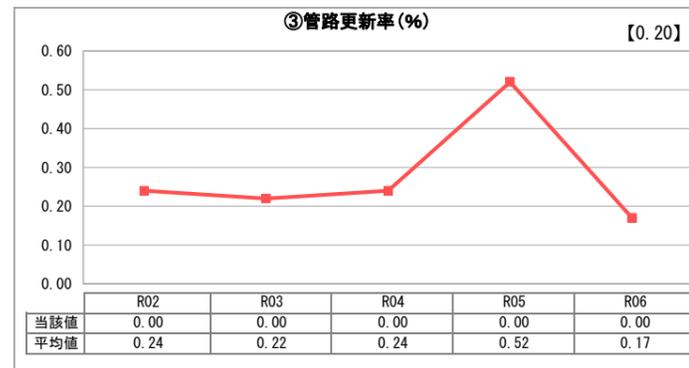
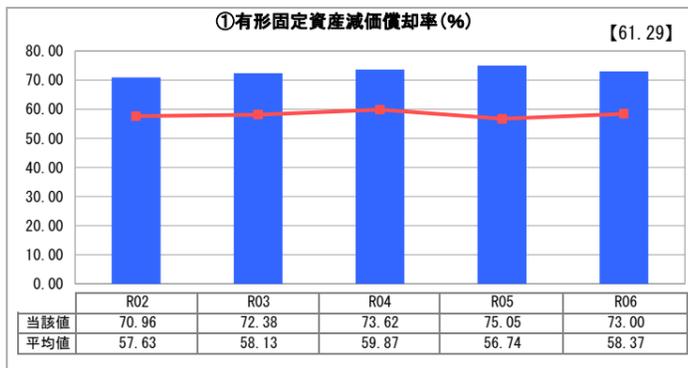
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率及び⑤料金回収率は、前年度より悪化している。令和5年度に実施した料金改定において、令和5、6年度を経過措置としており、令和7年度以降は100%を確保できる見込みである。
- ② 利益積立金を取り崩して累積欠損金に充当したことにより、累積欠損金比率は0となっている。
- ③ 流動比率は一年以内の短期債務に対して十分な支払能力がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は企業債残高がなく良好な状況である。
- ⑥ 給水原価が供給単価を上回っているが、料金改定の経過措置が終わる令和7年度以降は給水原価が供給単価を下回る見込みである。
- ⑦ 施設利用率や⑧契約率は、供給先事業者における水のリサイクル化などにより、水需要が減少しており、全国・類似団体平均を下回っている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、前年度に施設更新したことにより減少しているが、全国・類似団体平均を上回っており、施設の老朽化が進行していることを示している。
- ② 管路経年化率は、当年度に法定耐用年数を迎えた管路がないため、前年度から増減はない。
- ③ 管路更新率は、法定耐用年数を超えた管路は存在するが、更新に至っていない。今後、事業運営の在り方を踏まえて検討していく必要がある。

全体総括

令和5年度に料金改定を実施したものの、経営状況は前年度より悪化している。令和5年度に実施した料金改定において、令和5、6年を経過措置としているため、令和7年には経営状況改善の見込みである。今後も経営基盤の強化を図っていくとともに、事業運営の在り方について検討していく必要がある。